

## 平成 25 年度後期大学院薬学研究科授業改善アンケートについて

### ○対象授業科目

環境衛生科学特殊研究Ⅰ：学生 1 名、教員 1 名	環境衛生科学特殊研究Ⅱ：学生 1 名、教員 1 名
病態解析科学特殊研究Ⅰ：学生 2 名、教員 1 名	
医療情報科学特殊研究Ⅰ：学生 3 名、教員 2 名	医療情報科学特殊研究Ⅱ：学生 1 名、教員 1 名
薬物治療科学特殊研究Ⅰ：学生 1 名、教員 1 名	薬物治療科学特殊研究Ⅱ：学生 3 名、教員 2 名
薬物動態科学特殊研究Ⅰ：学生 3 名、教員 2 名	薬物動態科学特殊研究Ⅱ：学生 4 名、教員 2 名

### ○アンケート調査目的

特殊研究がシラバスに記載された『授業の概要と目的』に準拠し、『到達目標』を達成できたか、また、副指導教員制度を活用できたかについて検証し、次年度の研究指導の改善の参考資料とする。

### ○到達目標について

シラバスに記載されている内容のみでは判断しづらく、回答し難い部分もあったように思われる。

### ○シラバスの内容に準拠した成績評価について

シラバスに記載されている成績評価基準が、評価基準のすべてを網羅しているわけではなく、回答し難い部分もあったように思われる。

### ○副指導教員との連携について

一般学生の場合はしばしば指導を受けていたようであったが、社会人学生の場合、上手に活用できていない現状が明らかになった。

これらを受け、下記のとおり対応していくこととなった。

### ○副指導教員制度について

昨年度に引き続き、副指導教員との面談機会を設け、指導を仰ぐような体制を継続する。